



第38回秋季日本老年精神医学会

ランチオンセミナー 3

日時 2023年10月13日（金） 12：00～13：00

会場 日本教育会館 7階 中会議室「第4会場」
(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

Biomarkerを用いた神経変性疾患の 臨床診断とその問題点

座長

加藤 忠史先生

(順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学 主任教授)

演者

澤本 伸克先生

(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻
近未来型人間健康科学融合ユニット 教授)

本セミナーの聴講には学会参加登録が必要です。詳細は大会ホームページをご参照ください。
なお、本セミナーは現地開催のみで、WEB配信は予定しておりません。
また、本セミナーは整理券制です。セミナー開始5分後に無効となります。
配布場所：1階 参加受付前 配布時間：7時45分～11時15分

大会ホームページ >> http://184.73.219.23/rounen/taikai/38th/38kai_aut/index.html

共催：第38回秋季日本老年精神医学会／
日本メジフィジックス株式会社
後援：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会



About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。

また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていきたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>



JCNN



アミロイドPET 関連コンテンツのご案内



ビザミル® 静注 リフレッシュートレーニング

ビザミル® 静注を用いたアミロイドPETの読影e-トレーニングを修了された先生が読影方法を復習したり、読影e-トレーニングの受講を希望される先生が読影法の概要を把握できるような内容となっております。(本動画を読影e-トレーニングの代用として使用することはできません。)



ビザミル® 静注 読影ポイント ハンドブック



ビザミル® 静注の
読影のポイントを
紹介しています。



ビザミル® 静注 症例アトラス

うつ病と アルツハイマー型認知症の 併存が疑われた症例

うつ病とアルツハイマー型認知症の鑑別におけるアミロイドPET検査の役割について、他モダリティの検査結果などと併せて紹介しています。

若年発症 アルツハイマー型認知症が 疑われた症例

若年発症アルツハイマー型認知症の診断におけるアミロイドPETの役割について、他モダリティの検査結果などと併せて紹介しています。

放射性医薬品・脳疾患診断薬 薬価基準未収載

ビザミル® 静注

放射性医薬品基準フルテマトル(18F)注射液

